誓子の日記

「蝉から学んだこと」の巻

空梅雨かと思っていたら、集中豪雨が続き、おかしな梅雨でした。前号からの間、院主（住職のこと）さんの入院・手術・治療など、あっという間の数ヶ月でした。家族に病人が出たときの不安や、様々な苦悩を体験しました。しかし、まだまだ始まったばかり、引き締めて行こうと思っています。

さて、とうとう夏休みに突入して、我が家の腕白三兄弟はパワー全開です。特に最近は、お笑い番組にはまって「あるある探検隊。」「パペットマペット！」「どんマイケル☆」などと長男を中心に実演して見せてくれます。このお笑い好きは、誰の影響？も、もしかして……わ。た。し。？　う～む。

夏休みのわが家の朝は、境内の蝉の鳴き声と共に始まります。そのすさまじい鳴き声に誘われて、二男の学は（虫取りはしてはいけませんが）蝉取りに夢中です。もちろん取る場合はキャッチアンドリリース（すぐ逃がす事）が条件。ある日の午後のことでした。境内で蝉取りをしていた学が、「おかーさん！蝉のさなぎ。動いてるのー！」と興奮して戻ってきました。アミの中にいたのは蝉の幼虫でした。兄が虫取り名人だった私は、「じゃあ蝉になるまでお家で観察してみようか！」と廊下の網戸に幼虫を引っかけたのでした。

智寧さんも初めてらしく、最初は心配していましたが、まもなく背中が割れ始め、中から薄緑色に輝く蝉の頭が見え始めると、一転興味津々、ビデオで撮ろうと言いだし、家中で観察会が始まりました。刻々と脱皮する様子にみんな大興奮でしたが、一時間程経った頃でしたか、あと少しで身体が全部出てきそうなところで動かなくなってしまいました。子供たちは、「休憩かな？」「眠ってるんじゃない？」と心配していました。

結局、寝る時間になっても変化は無く、翌朝には色が変わって死んでいました。

特にがっかりしたのは、捕まえた学でした。「もう少ししたら目を覚ますかもよ」などとなかなか死んでしまったことを信じがたい様子でした。子供が寝た後、心配してインターネットで調べた智寧さんから、「だいたい二時間程で蝉になるらしいよ。きっと上手に出られなかったんだろう。」と説明され、やっと理解したようでした。

観察しようと言い出した私も責任を感じ、「お母さんが悪かったのかもしれない。お外に帰してやっていたら、蝉になれたかもしれなかった。」と子供たちに話しました。

その後、朝のお勤めが終わった時、仏さんに向かって学は「今度、蝉取りで幼虫を見つけたら、そのままにしておきます。」といいました。朝食後、蝉のお墓を作りました。私たちは大切な勉強をしました。蝉さんごめんなさい。

お礼

●仏花
青木武成・佐藤ハルエ
繁田一馬
長橋金宮原延詰沖野座田和俊内用ハガキ寄付
河法案
平原浩國サ子ト子ヲ
内本廣和美子
熊本良子子
国分信子子
佐々木信子
寺報へ
吉川博徹（広島市）忍（広島市）
平岡まつり
花
甘茶船汁
風墨
降誕会
石田石ヒ河小堀ゴ和ム薬ゲ俊つ草だん店
石ン
岩崎橋寿局
岩崎野寧衛美
石田正
板橋智
板延田崎
板村延田崎
木村延田崎
金小内
小斉木金
熊堀藤村
長本詰田多仏芳綾國原慶
斉永益田大壇樹美子倖子
小
ヤ
ヤ平
ヤ
ヤ
ヤ